

那珂川渇水調整協議会

1. 開催日 令和6年1月12日(金)

2. 送付資料

- ①渇水状況について
・那珂川の流況及び降雨状況について 【資料1】
- ②那珂川渇水調整協議会連絡事項 【資料2】
- ③今後の天候の見通しについて 【資料3】

那珂川水系雨量・流量状況図(1月11日現在) 【資料1】

凡 例

本年1月の総雨量

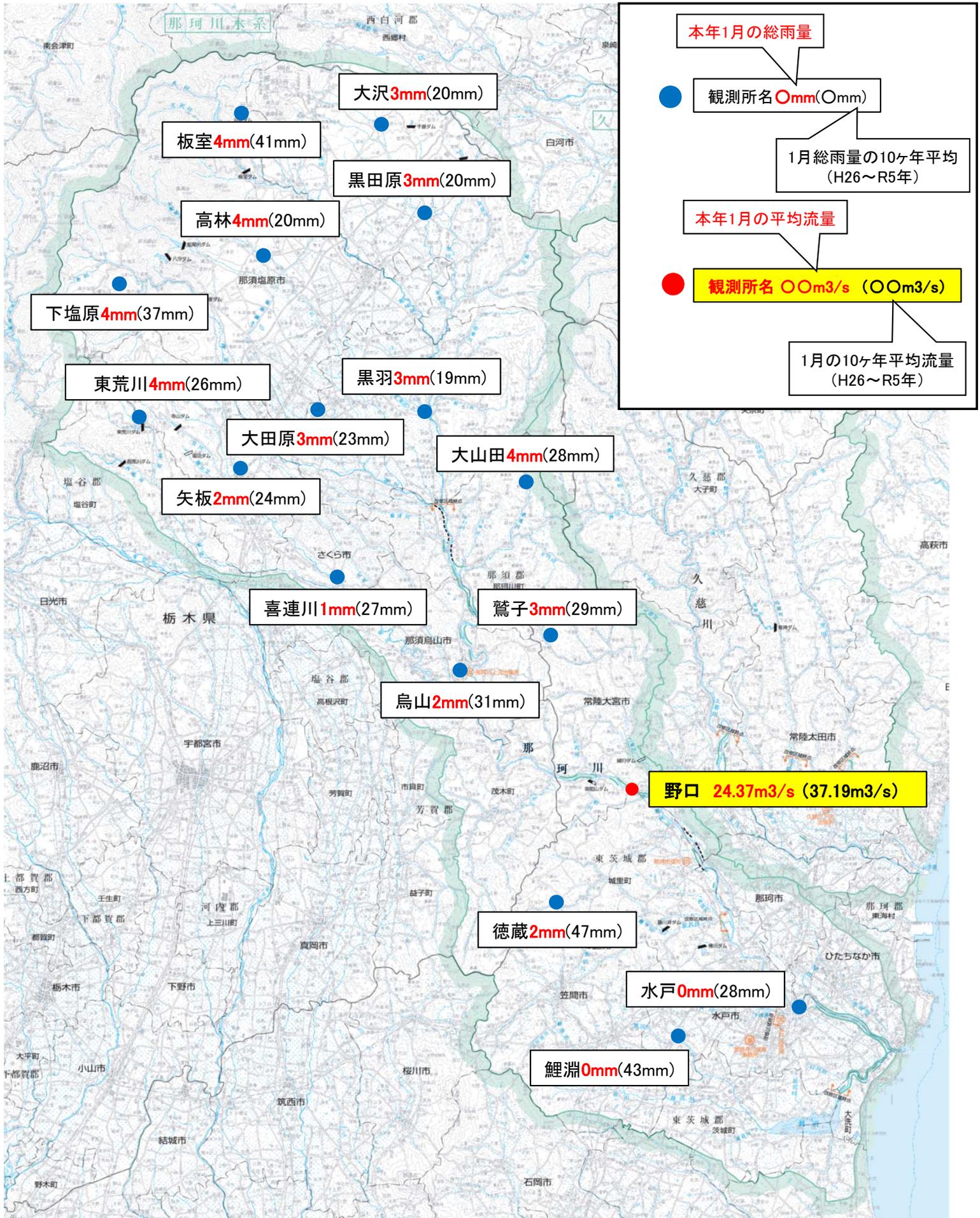
観測所名 **Omm**(Omm)

1月総雨量の10ヶ年平均
(H26~R5年)

本年1月の平均流量

観測所名 **OOm3/s** (OOm3/s)

1月の10ヶ年平均流量
(H26~R5年)



※雨量・流量データは速報値であり、今後の調査により数値が変更となる場合があります。

那珂川流域の降雨状況

流域平均雨量(mm)

(速報値)

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10ヶ年平均	127	109	165	205	191	202	169	61	44	30	31	97	1,431
平成31年度	95	143	260	209	139	116	427	81	30	84	24	92	1,700
令和2年度	161	117	202	260	87	156	107	13	7	17	43	159	1,329
令和3年度	121	126	163	252	309	142	101	92	101	14	32	66	1,519
令和4年度	114	156	111	221	130	239	72	72	37	16	24	91	1,283
令和5年度	102	140	304	94	157	192	95	76	21	3			
平均値に対する割合(%)	80.3%	128.4%	184.2%	45.9%	82.2%	95.0%	56.2%	124.6%	47.7%	10.0%			

※10ヶ年平均は、H25年度からR4年度の流域平均雨量の各月の平均値。

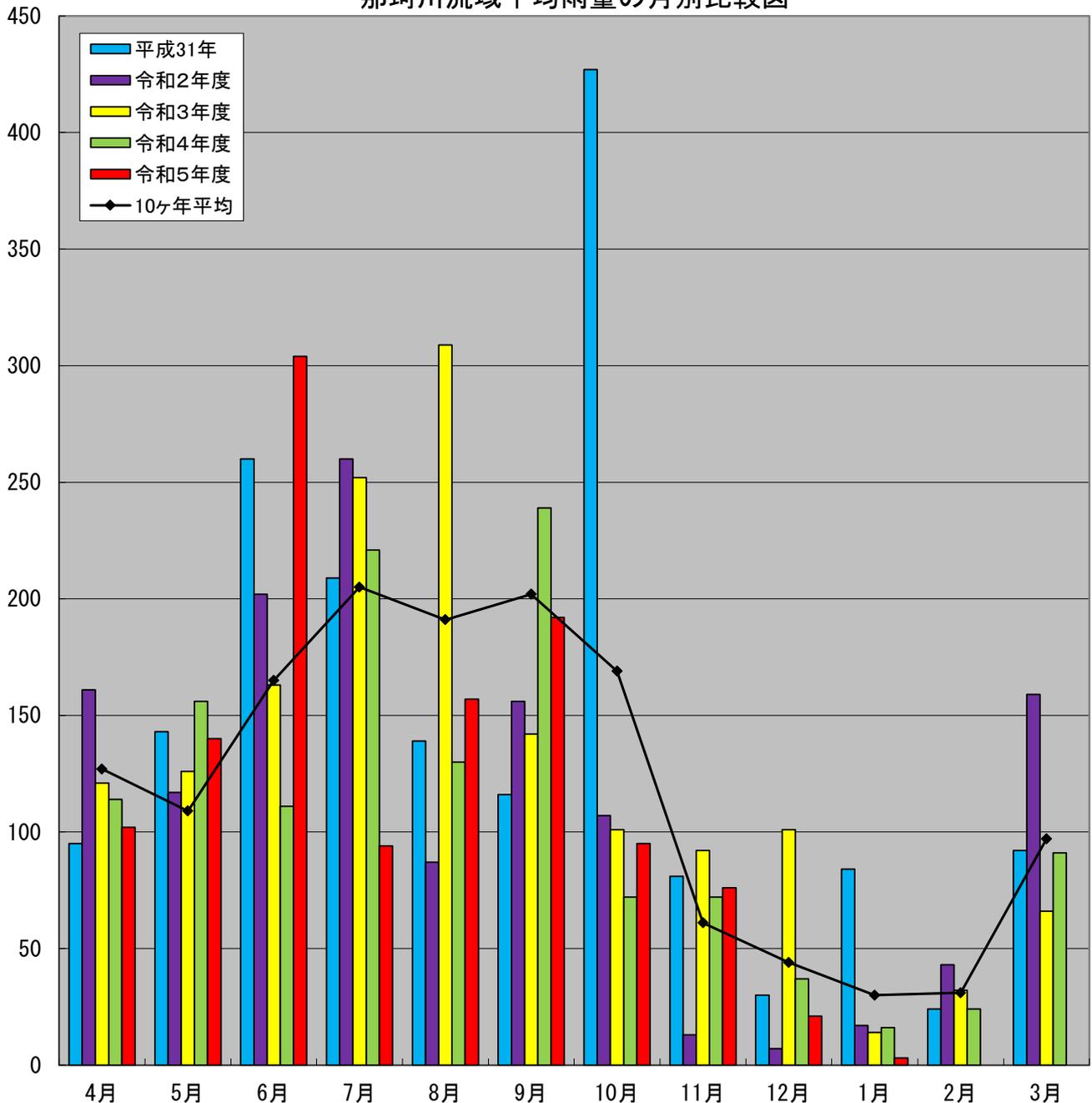
※表の数値は1ヶ月の合計雨量(統一河川情報データ(速報値)より)。

※令和6年1月の平均雨量は1月11日現在の値

1月11日現在

雨量(mm)

那珂川流域平均雨量の月別比較図



※雨量データは速報値であり、今後の調査により数値が変更となる場合があります。

那珂川流域(野口)の流況

野口流量 (m³/s)

(速報値)

年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
10ヶ年平均	54.18	55.38	78.62	110.49	113.14	137.81	111.63	65.37	51.30	37.19	33.61	52.15	75.07
平成31年度	20.31	61.29	106.61	149.47	104.35	97.05	190.43	102.74	58.31	54.51	43.25	46.48	86.23
令和2年度	81.00	57.79	100.22	155.04	82.76	105.34	66.70	42.04	31.98	27.17	31.33	60.19	70.13
令和3年度	46.26	63.02	94.52	143.37	181.89	134.39	72.40	67.32	77.80	34.66	27.02	36.60	81.60
令和4年度	42.25	62.20	75.67	94.44	85.83	147.57	72.42	43.23	38.12	30.24	28.75	36.67	63.12
令和5年度	29.40	52.43	131.99	63.59	62.13	99.19	46.75	39.48	26.66	24.37			
平均値に対する割合(%)	54.3%	94.7%	167.9%	57.6%	54.9%	72.0%	41.9%	60.4%	52.0%	65.5%			

※10ヶ年平均は、H25年度からR4年度の各月の平均値。

※表の数値は1ヶ月の平均流量。

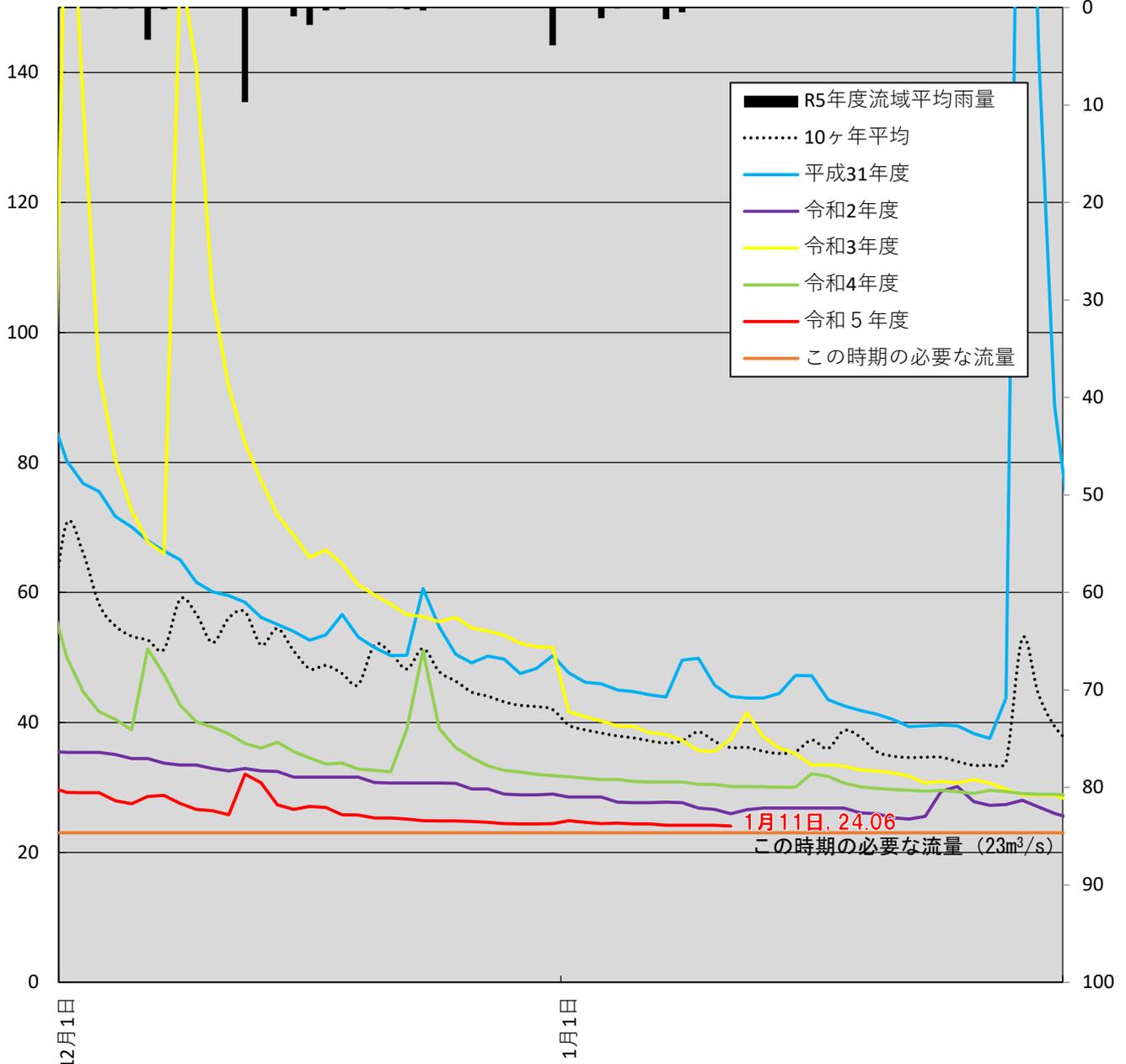
※令和6年1月の平均流量は1月11日現在の値

1月11日現在

那珂川流域(野口地点) 流量変化対比図

流量 (m³/s)

雨量(mm)



※R3までは水文水質データベースの日流量、以降は統一河川情報(速報値)の日流量による。

※雨量データおよびR4以降の日流量データは速報値であり、今後の調査により数値が変更となる場合があります。

※「この時期に必要な流量」は渇水の目安となる流量。

【資料2】

那珂川湧水調整協議会連絡事項

現状と今後の対応

1. 現状

(1) 那珂川流域平均雨量の状況

12月の雨量は21mm（近年10カ年平均44mmの約47.7%）

1月1日から11日までの累加雨量は3mmと少ない状況となっている。

小雨の影響により河川流量が減少しています。今後も降雨が少ない状況が継続すると、広く取水障害が発生する懸念があります。

2. 今後の見通し

(1) 気象庁発表の気象情報（1か月予報：1月6日～2月5日）によると、降水量について、「少ない」の確率は40%、「平年並」の確率は40%、「多い」の確率は20%となっている。

(2) 今後、降雨状況によっては、継続的に那珂川の流量が減少し、また、河川の水質が悪化することが予想される。

3. 今後の対応

(1) 各利水者は、相互に協力し円滑な水運用が図られるよう、最大限の努力を行うものとする。

(2) 今後、広く取水障害が発生する状況となった場合は、改めて当協議会を開催し、対応について協議するものとする。

(3) 上記（2）の必要が生じた場合は、休日であっても、緊急連絡体制をもって当協議会を開催するものとする。

(4) 茨城県及び栃木県は、関係利水者に対し、取水口ごとの取水量の管理の徹底を呼びかけるものとする。

4. その他

(1) 緊急連絡体制の確認

(2) 都市用水については、必要に応じて節水と水質汚濁の防止について、関係住民にチラシ、パンフレット、広報車等により呼びかけを行うものとする。

また、大口需要者に対しては、節水の協力要請を行うものとする。

(3) 都市用水については、減圧給水や給水制限など、住民生活に影響が生じることが予想される場合には、速やかに事務局（常陸河川国道事務所）まで情報提供をお願いします。

向こう1か月の天候の見通し
 関東甲信地方（01/13～02/12）

予報のポイント

- 寒気の影響を受けにくいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 高気圧に覆われやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
関東甲信地方	低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） <small>平年並も40</small></p>	<p>降水量（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） <small>平年並も40</small></p>	<p>日照時間（1か月）</p> <p>少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） <small>平年並も40</small></p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、日本の東海上で平年より低く、北日本を中心に低気圧などの影響を受ける時期がある見込みです。一方、沖縄・奄美から東・西日本付近では、低気圧の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、シベリア付近や中国大陸で平年より高く、日本付近は寒気の影響を受けにくいでしょう。

1/13 - 2/9
 CONTOUR PSEA: 4hPa ANGMALT: 2hPa

地上気圧

1/13 - 2/9
 CONTOUR TEMP.: 3°C ANGMALT: 1°C

上空約1500mの気温

季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

	平均気温（1週目） 01/13～01/19	平均気温（2週目） 01/20～01/26	平均気温（3～4週目） 01/27～02/09
週別の天候	高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
関東甲信地方	低10 並40 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 以上 平年並も40% 高い確率（%） 40 50 以上</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 以上 平年並も40% 高い確率（%） 40 50 以上</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 以上 平年並も40% 高い確率（%） 40 50 以上</p>

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/kanto1.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



（実況）01/04～01/10	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
関東甲信地方	+2.0℃（かなり高い）	10%（少ない）	121%（多い）

参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20：40：40)	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40：30：30) (30：40：30) (30：30：40)	ほぼ平年並の見込み
(40：40：20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み